

第3回 西条市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成26年8月4日 14:00～
場所：西条市役所 本館5階 502会議室

1 開会

2 会長あいさつ

- ・暑い中お集まりいただきありがとうございます。
- ・第1回協議会に議論いただいた委託要綱に基づき、事業者を選定した。今日はその事業者に来ていただいている。

3 西条市地域公共交通総合連携計画策定業務 委託事業者紹介

＜三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 紹介＞

＜新任委員等 紹介＞

4 報告事項

(1)西条市地域公共交通総合連携計画策定に向けて

○事務局

＜資料1 説明＞

○周桑商工会

- ・調査対象が西条市民3,000人とあるが、これはランダム抽出なのか。

○事務局

- ・ランダム抽出を想定している。

○愛媛運輸支局

- ・企業に勤めている人は対象外なのか。

○事務局

- ・「現地アンケート」の方で把握することとしている。

○会長

- ・対象が重なる可能性もありうるということか。

○事務局

- ・その通りである。

○倉内准教授（愛媛大学）

- ・配布ベースで3,000人なのか。
- ・30%回収しても900サンプルしかなく、クロス集計などを行う上でそれが有効であるかどうか気になる。

○事務局

・配布ベースで 3,000 人である。先生方のご意見を踏まえて検討したい。

○副会長

・回答者に高齢者も含まれるので、難しい質問は避けて分かりやすい設問にして、回答の正確性を確保してほしい。

○愛媛県バス協会

・個人情報の保護に留意して、アンケートが届いた人が不安に思わないように工夫してほしい。

・10 ページの下から 2 行目で、「停留所の一」は「停留所の位置」だと思うので、訂正してほしい。

○事務局

・移動の目的別でアンケート用紙を分けることで、世帯のたくさんの人に回答してもらうような工夫はできる。

○東予地方局

・地域ごとの交通体系を考える調査だと思うので、地域別のクロス集計をすべきかと思う。

・ワークショップは 1 か所ずつの計 4 回の予定のようだが、ワークショップをするならもう少しきめ細かく実施されるのが良いと思う。

○事務局

・ワークショップの実施回数の少なさは認識しているので、工夫していきたい。

○老人クラブ連合会

・13 路線の影響を受ける人、受けない人、両方の意見を聞いてほしい。

・アンケートの内容については、補足説明をするなどで分かりやすくしてほしい。手間はかかるかと思うが、結果的には手間が少なくなるだろう。

○事務局

・いただいたご意見を踏まえながら対応したい。

○愛媛運輸支局

・国では法改正があり、地域公共交通の運営主体が地域住民となった。

・「国土のグランドデザイン 2050」では、かなりの地域で人口が減少することとなっている。

・観光とまちづくりをふまえて検討してほしい。

(2)地域特性及び公共交通の現状把握・課題

○事務局

<資料 2 説明>

○副会長

・「基準適合車両」というのはどういったものを指すのか。

○愛媛運輸支局

・平成 22 年度にバリアフリー法が改正され、ノンステップ化が義務付けられた。瀬戸内運輸のバス車両のうち、ノンステップバスの導入率を示している。

○倉内准教授（愛媛大学）

・人口分布等で「高齢者」を 65 歳以上で分けているが、高齢層をもう少し分類してほしい。

・高齢夫婦など、世帯の特性もあると思うので、世帯特性によるカテゴリーについても表記して欲しい。

(3)路線別の利用状況

○事務局

<資料3 説明>

○愛媛運輸支局

- ・「収支率」は分かりにくいと思うので、営業係数も併記してほしい。

○事務局

- ・併記することにする。

○運輸支局

- ・定瑞線の収支率は良くないが、どのくらい赤字が出ているのか。

○瀬戸内運輸

- ・金額については差し控えたい。この路線は競合している部分が多く、収支率で示されると仕方ないところはある。
- ・せとうち周桑バスについて、明河線や楠窪線は人口が少ないところを走っているので、どうしても収支率は悪くなる。
- ・平成元年に、東予市・丹原町・小松町・西条市がお金を出し合って廃止代替として始めたのがせとうち周桑バスである。国、県の生活路線には入っていない。

○西条商工会議所

- ・「停留所別乗降者数」という図表があるが、乗降を数えたものではなく、通過人数を示しているなので、表記を工夫してほしい。

○事務局

- ・表記を工夫する。

○宮崎准教授（香川高等専門学校）

- ・丁寧に整理していただいて感謝している。
- ・せとうち周桑バスは廃止代替の意味があるので、この資料にもその旨を示した方が良い。
- ・資料説明の中にも、地域によっては往路と復路で路線を変えている場合がある。そうした場合を反映させるために、地域ごとの整理も必要かと思う。
- ・三芳線は、必ずしも人口密度の高い地区を通っていない。そうしたご提案を頂いた方が良かったと思った。

○せとうち周桑バス

- ・三芳線については、道幅などの危険を考慮して設定している。
- ・以前は壬生川、現在のそごうマートというところに車庫を作って操業しており、停留所はないが、補助金の起点もそごうマートからとなっている。

○宮崎准教授（香川高等専門学校）

- ・補助金をもらうために路線を維持してはいけない。人を乗せるように路線を検討してほしい。

○せとうち周桑バス

- ・一部区間ではフリー乗降区間を設けているなど、利便性向上に努めている。

5 協議事項（市民アンケート調査票(案)について）

○会長

- ・規約に従い、これより私が議事進行を務めさせていただく。
- ・本日の協議事項は市民アンケート調査票（案）になる。

○事務局

<資料4 説明>

○愛媛運輸支局

- ・アンケートには、バリアフリー関係の設問を加えてほしい。

○事務局

- ・検討したい。

○瀬戸内運輸労働組合

- ・9300万円の税金投入ということが書いてあるが、それが多いいのか少ないのかの判断基準が必要だと思う。また、税金投入の説明の後に問15があると、誘導しているように思う。

○事務局

- ・9300万円の判断基準を説明する資料を、アンケート調査票に別途加えたいと思う。

○愛媛運輸支局

- ・問17で、交通空白地域の定義が難しい。一般的にはバス停から300mと言われているが、山間部において300mというのはかなり難しい。

○事務局

- ・定義が難しいためはっきりと書いていないところがあり、ここについては先生方のご意見をふまえながら検討したい。

○副会長

- ・このアンケートの最後の方の設問は、回答が難しい。民生委員の協力を得るなど、高齢者が回答しやすいよう工夫してほしい。

○事務局

- ・民生委員に確認することとする。

○愛媛県バス協会

- ・問1で利用目的を3つ聞いているが、問7で再度聞いており「○は2つまで」と書いてある。
- ・問11に「8. 駐車場・駐輪場が無い」とあるが、パーク&ライドが分からないとこの選択肢の意味が分からない。

○会長

- ・○の数の精査など、再検討をお願いしたい。

○倉内准教授（愛媛大学）

- ・4ページからの満足度について、ほとんどの人は利用していないという前提に立って設計すべきである。調査票を3,000人に配布して、30%野回答で900人、さらに利用する人を5%と仮に設定すると45人しかいなくなる。
- ・6ページ以降は、なかなかイメージしづらいし文字も多い。この結果が得られたからといって、対応しづらいこともある。
- ・また、現状路線をベースとして聞いているが、どういう路線があれば使うかといった視点もあっても良いと思う。
- ・国交省では今後面的な考え方を求めていくようだ。土地利用の視点もあってよいと思う。

○会長

- ・富山市は土地利用と公共交通で有名である。

○西条市総合政策課

- ・西条市の都市計画マスタープランは、拠点連結型都市構造として、合併以前の拠点を維持活性化して、道路で結ぶこととしている。

○宮崎准教授（香川高等専門学校）

- ・目的別に聞くのが聞きやすいと思う。
- ・どういう条件なら公共交通に乗ってくれるか、という視点があっても良いだろう。
- ・土地利用との関係という視点があったが、拠点性を活かした計画にすると国からの補助が得られやすいこととなったようだ。

○老人クラブ連合会

- ・年をとるに従って、活字を読むのが難しくなる。市報のような書き方にさせていただくと良いだろう。

○西条市医師会

- ・アンケートはこれだけなのか。急患センターは医師会が指定管理を受け、年間利用数は1万人程度で、それら利用者に聞くことは可能である。

○事務局

- ・ありがたいご意見なので、事務局で検討したうえでご相談させていただく。

○会長

- ・アンケートについては、今日のご意見をふまえて修正し、委員にお示しする。あとは事務局一人をお願いできたらと思う。

<異議なしの声>

6 その他

○事務局

- ・その他、ご意見・ご質問があればいただきたい。

<特になし>

- ・それではこれで会議を終了する。